

安住院便り

会 で 開 読 ら 信 り 同 三 ま 三 音 音 に

令和6年8月1日発行

(第53号) **〒703-8236**

岡山市中区国富3丁目1-29 住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

瀬 戸 内 観 音 場 開 創 記 念

のし催・い徒、法十し十寺霊於本 おたは観、の各会三た九・場い年 砂の前音当皆札の年 会宮会て四 で住経院さ所順に 合寺へ 職読本ん寺 同密第瀬三 と全の誦堂に院が 度 法正一戸日 く代のを集のが 会会番内 0 を長・三当 、宝め、会厳つ職院場 厳一不十安 修の洗三住 し 第 観 観 院

一おき当出り者職頂て多初で法荘ま住当霊 わ緒詣ま日来、のをけ いにりしはま無多始る多塔て現をして・に会 し事くめよくのの住行ても檀な合 ま法した し会てが一たにの檀うの内行職い たが下、日 開方家に皆部事はま会 催々世とさ公で寺し長 出さ多中 すの話考ん開しにたの 来りく雨 `のが る協人えにもた居 慶 、喜企。ま前讃 喜皆方降 こ力や とに関副ん画霊せ回文 び様々り をとが続 がよ係住でし場んの奉

のに中茶喜っ部なホ堂 -

で安感 住謝合 今院の同 後の気法 と護持会 持ちを 宜に で無 努い事 かぱえ、 つ終 るい 所で関 致存す係 で、者 あこに ま りれは 。まか本 すら当 のもに

ŧ

<

お

願





近で羅ばくのくでの観 世れり説な写中音 とく皆界まと明い真を経 思第さをし内もよを十一 いーん表た部さう撮分を ま歩の現 をせにるに唱 しだ和す本見てお方見え たとやる来らも願もてて 感かこ これらい多い じなと本たいしくた法 笑で堂方まておだ会 御顔すのもし、らき終 。役多た仏れ 本を 了 尊見そ割く。様ま最後 もてのは、初やす近に `本浄とめ本がはは お 喜仏堂土てて堂、ス

び様の曼もじ内危マ本

安住院ホームページ http://www.anjuin.com/

送り 火 法 会のご 案 内

精檀 霊信安 送徒住 る りの院 八 皆本 を 月 行様堂午十 い方前後五 まのの五日 す。 先 境 時 木 祖内 ょ 供に り 曜 て、 養



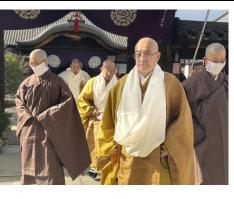
申し込み 込みをおり 願い ま 41 うすの 致 Ū うます。 で、

例の 年灯岡 通籠山 り流市 開し仏 は、八名教会主 催 されます。 主 八月十 0 六日 西 Ш で

> た弟頑。。は張 く遊んでいます。 兄は 張って歩いて通ってい.兄は小学一年生にな 休みの日には、二人で 幼 稚園 の年中になり り、 ま す。 仲 ま 毎 良 日



京 都 東 寺 御 |修法||出 仕



呼 京 ば都今 れの年 る東正 大寺月 法に八 て日 会 がっか 御 ら 真修 言 法 週 宗 間 のと

> 実のすのおと修各感中。国大しさ総 感 中 国大しさ総 でお家師 致 てれ大 安様 本 まおそ泰が修住山 し大かを始法職のいた。 様雰念らた大閣 の囲すれし行梨 囲 気 る た、 す ま事に ^ごさを の法 し のよ 道会毎た役り場で年。職厳 職厳

多宝 塔 御 本 尊 公 開

しの併霊 見せ場 て 学 会を 0) 多 法 宝会

り宝院催塔に、概多しの併 多 塔 · 宝 塔 し 尊 の 塔はた 勝 名 曼 の尊 茶 羅通勝当開

ですが、 尊像 ょ 、する を祀って り 際の 少 は 0 ĺ はた ご中い だ 本 は 々ま け 尊 難 す 理をし。解見いそ た 0 でいる事れ

うか ま で行あ た、 いれ たば、 41 機 も是会 の非が



瀬 戸 内

霊

場

お

砂

踏

み

じ 詣 き 集札観瀬 功 り め所音 全たの霊 徳 し がたて上お場 證あとをを砂の

<u>と</u> 書 全 院 も す る にてのにて とさ 0 中々見 で、中々 緒 見代所催 多 る敬の < し こ明御まお同お歩を各と和本し砂じ詣き集札 かの し お 指の尚尊た。 の尚尊た。 踏み 感じ り出のの の来も掛 を 理 ま方なのけ 々い で軸

の毎 年 で、宜しく願い致します。 0 团 参 ŧ また企 画 ま



な

41

で